

# 第68回 早慶バドミントン 定期戦大会

---



令和2年 10月31日(土) 日吉記念館

---

主催：慶應義塾体育会バドミントン部  
早稲田大学バドミントン部  
協賛：ヨネックス  
ウェンブレー

# 目次

部長・会長挨拶 .....	3
監督挨拶 .....	4
主将挨拶 .....	5
早慶戦に寄せて .....	6
早稲田大学選手・コーチ紹介 .....	8
慶應義塾大学選手・コーチ紹介 .....	12
今年度試合結果 .....	17
当日の様子 .....	18



これまで、この早稲田大学と慶應義塾大学によるバドミントン定期戦の閉会式にてご挨拶する際には、「来年度もこの素晴らしい大会で、みなさまにお会いできますよう」と申し上げてきました。感染症拡大によって、このことがまさかかなわなくなるとは、当然のことながら、夢にも思っていないませんでした。この病により多くの人が亡くなりましたし、闘病中の方もいらっしゃいます。そして、経済活動の停滞によって、生活に困難を抱えている人たちのことも忘れてはなりません。そのような中で、非常に限定的ではありますが、この定期戦をともかく開催できることには、特別な思いを禁じえません。

選手のみなさんは、練習量も、いわゆる「試合勘」も、例年とは大きく異なっている中で、試合に臨まざるを得ない状況にあると思います。それでも、その条件下で、精一杯のプレーを見せてもらえると期待しています。ぜひ、この一日を楽しんでください。最後に、このような状況下にて、開催に尽力された関係者の方々に御礼申し上げます。

## 会長挨拶

## 三田バドミントンクラブ会長 諏訪芳博



今年2月からの新型コロナウイルス感染による外出自粛、ソーシャルディスタンスの確保、様々なイベントに関する規制などが怒涛のように押し寄せ、オリンピックは来年に延期、各種スポーツも観客なしでの開催となって、非常に残念な年となってしまいました。バドミントン界において、リーグ戦をはじめとして様々な公式試合が中止となり、現役各位におかれては非常に苦しい辛い1年になってしまいましたが、伝統の早慶バドミントン定期戦については、現役戦のみ開催する運びとなったことはとても嬉しいことです。

そして、この逆境下で開催される定期戦が2020年春に新築された慶應の日吉記念館で開催されることも慶應義塾大学体育会バドミントン部OBの一人として、またOB会長として大変光栄に思います。

さて、今年の早慶バドミントン定期戦もいつもの定期戦と違い、大学4年にとっては最初で最後の公式戦となります。

男子5複10単、女子2複3単という総力戦は変わりませんが、そこに出場する選手、特に4年生は万感の思いで、コートに立ち、思う存分、バドミントンを楽しんでもらいたいと強く思います。試合らしい試合が出来なかった悔しさを伝統校同士の現役諸君で悔いのない試合になったら最高の幸せだと思います。そして、その晴れ姿を保護者をはじめ大学OB・OG各位に一目見れるように、最大の工夫を凝らして取り組んでくれている現役諸君全員に多大なる謝辞を送りたいと思います。

その中でいろいろなドラマがあると信じており、今年もリモートなどで応援している方々に感動を与える試合を期待しています。

そのためには、昨年も言いましたが

① 最後まで自分を信じて、自分の力を出し切り、自分に納得のできる試合や応援をやり抜くこと

② 「勝」ことに拘り、気持ちの上で相手に負けないこと

を大切にして試合に臨んでいただきたいと思います。

永きにわたる歴史と数々の思い出がいっぱい詰まった定期戦が、今年はちょっとカタチを変えて行われることが新たなスタートの1ページになるものだと確信しています。

新たなカタチの早慶定期戦の開催にあたり準備等にご尽力いただいた皆さまに再度感謝申し上げ、第68回の早慶バドミントン定期戦に向けた挨拶とさせていただきます。

**『未曾有のコロナ禍から立ち上がれ！ 新記念館に響き渡れ“若き血”“紺碧の空”♪』**

未曾有のコロナ禍。新年の男女主将抱負の中には、まったく想定されていなかった出来事だ。日本だけでなく、世界中の人々にとって予想を超えた悪夢である。微かな望みを繋ぎつつ、じつと我慢し耐えた3～7月を過ぎて出た答えは、全公式戦中止の決定。全ての出場機会を失った部員たち、特に最終学年である4年生の落胆・消失感は測り知れない。これまで諸先輩方が体験してきた厳しい局面や挫折ともまったく異質なものだ。頭やコトバで解決できることではない。また、時が忘れさせてくれるレベルのものでもないと思う。

では、現役諸君が今後巻き返して頑張る生きていく光やヒントはあるのか。正直、言葉に詰まってしまうが、福沢先生ならどう考えるのか？というスタンスで見つめ直すと、誰も経験したことがない状況の当事者という立場を、極めてユニークな“個性”として捉えることで、これからの人生を歩む上でのエネルギー・武器に変えていけないだろうか。真の意味での文武両道・人生を学ぶという意味において、障害があつて、失うものがあつてこそ初めて気づくことがある。その時ぼんやり頭の奥底に灯る“新たなモノの見方”や“創意工夫へのヒント”や、今までは気付かなかつた“自分の本能的なチカラ”がそれだ。

一般的に“シアワセの基準”は変えられない人が多い。一度得たものは捨てるのが難しく、だから守りに入るし、現状を嘆き、過去を礼賛する。一方で、状況やその時に合わせて“シアワセの基準”を動かせる人は強い。今を強くなれるチャンスと捉え、七転び八起きを普段使いで身にまとう。七回転んでも笑顔で胸を張っている。こんな生き方が若人である選手諸君にはピッタリだ。BUT！ が、しかし,,,,,「言うは易く行ふは難し」だ。そんな困難な時にこそ寄り添い、励ます仲間が必要だ。同志、好敵手、同じ道を歩んでこられた先輩方の存在だ。諸先輩方は君たちの今を、そしてこれからを看てくださっている。決して孤立無援の戦いではない。今こそ、慶應義塾、早稲田の底チカラ・強さを見せる時だ。

特別な時を過ごした、特に四年生は世代の代表だ。リモートで出来ることもあるが、出来ないことも数多くある。同じ学び舎、体育館の中で、切磋琢磨する体験・体感は格別だ。今回、両大学関係者のご理解・サポートと、現役諸君の頑張り、そしてOB OGの皆様方の多大なご支援・ご協力の中で早慶戦をリアルに実現できたことは、大変有意義なことだと思います。皆様に感謝感謝です。

出来ない理由や、現状を憂うことよりも、実現できる方法を柔軟に考え、トライしていくことの重要さを革めて感じる。

人類の歴史でもある、「ウイルスとの闘い」「国境紛争」「貿易戦争」「水・森林資源争奪」「人種間の偏見や差別との闘い」etc.

“葛藤”こそ成長の“テコ”であり、前進を促す“酵素”だ！

**「現役諸君、意義ある敗戦・挫折から立ち上がれ！ 自分の可能性を信じ、仲間を信じて！！」**

**「WIN THE PROCESS！」**

## 法学部法律学科4年 主将 佃啓介

初めに今大会を迎えるにあたりご尽力いただきました関係者の皆様、また歴史ある大会を今日まで紡いできてくださった両校OB・OGの皆様に厚く御礼申し上げます。

本年で68回を数える早慶バドミントン定期戦という伝統の一戦を新たに竣工された日吉記念館で開催できましたこと、そしてこの伝統の舞台に主将として臨むことができましたことを、大変誇らしく、名誉に感じております。

本年は新型コロナウイルスの世界的流行により、様々な混乱を社会全体に招きました。大学バドミントン界もその影響を受け、関東大学リーグ戦、東日本大会など各大会の中止を余儀なくされました。部員にとっては、目標の3部昇格が突然失われたことで、目標を見出だせない暗い日々が長く続いたと思います。私も未曾有の経験に下向きになった時期もあり、部員に助けられたことは数知れません。一人では絶対に超えられませんでした。また、今回の慶早戦は私が1年生のとき以来の日吉記念館での開催でした。記念館を覆う慶早戦の独特な雰囲気の中で、熱いラリーを繰り広げる先輩方の姿に私も大いに胸を打たれ、自分の練習姿勢を大きく見直すきっかけになりました。だからこそ、今回の慶早戦はより一層特別なものでした。結果としては、早稲田に惜しくも敗れましたが、勝利まであと一步のところまで追い詰め、これまでチームとして培ってきたものを十分に発揮できたと考えています。およそ30年ぶりの勝利は次の代にその願いを託したいと思います。

最後に慶應義塾体育会に所属して4年間、バドミントンのことだけでなく人として様々な成長をさせていただきました。私がこの4年間にここまで注力できたのもひとえに監督やコーチをはじめ、OB・OGの皆様、保護者の方々など、いかなるときであっても私達を気にかけて、ご支援、ご声援をいただいた全ての方々のおかげです。4年間大変お世話になりました。

以上をもちまして、主将挨拶とさせていただきます。



慶應義塾体育会バドミントン部 文学部 昭和54年卒  
森下 一夫

第68回早慶バドミントン定期戦の開催を心よりお慶び申し上げます。新型コロナウイルス禍で3月から、部活動が禁止となり、また年内すべての大会が中止になるという、前代未聞の事態が起きようとは誰も想像していませんでした。現役諸君、特に4年生の皆さんは目標としていた試合が開催されない無念さや様々な心の葛藤があったことと推察します。そんな中、無観客という形であれ、こうして慶早戦を開催できることを心から嬉しく思います。

今年春に完成した記念館で、現役諸君の躍動する姿を見られないことはとても残念ですが、日頃積み重ねた力を存分に発揮して、果敢に早稲田に挑み戦う姿を頭に描きます。特に4年生は今年試合のできなかつた鬱憤をこの慶早戦で晴らし、集大成として心に残る試合となることを心より願っています。まだまだ出口が見えないコロナという敵との戦いは続きますが、現役諸君は日頃の練習の積み重ねと常に高い目標を持ち見失わない気持ちを大切にしてください。

私が大学を卒業してから41年が経ちますが、入学前の年まで、慶応は早稲田に11連勝11連敗でした。慶応もなんとか関東大学リーグ1部に這い上がり、早稲田にだいぶ拮抗するようになっていました。1年生の時は慶早戦に出場することが目標でしたが、叶わず次点となり悔しい思いをしました。2年生からは慶早戦への出場が叶い、早稲田の良きライバル達と共に切磋琢磨し戦うことができたことは今でも大切な宝物です。そして、3年生の時によりやく慶応が11勝4敗で勝利した時の喜びは一生忘れられないものとなりました。

早慶の関係は他大学では味わえない特別なものです。良きライバルであり、同志であり、何年経っても変わらない貴重な存在です。この関係が更に深いものとなりますよう、この慶早戦でも是非懇親を深めていただきたいと願います。

最後に、慶早戦開催にご尽力いただいた方々への感謝とともに、早慶両校バドミントン部の益々の発展を祈念いたします。

慶應義塾大学 商学部 平成26年卒  
大山研一郎

第68回早慶バドミントン定期戦の開催にあたり、心よりお慶び申し上げます。本定期戦の開催に向けてご尽力されてきた両校の皆様には感謝申し上げます。

本年は新型コロナの影響により、春季、秋季リーグ戦をはじめ、ほとんどの試合が中止、また、通常の練習も思うようにできない等、厳しい状況が続き、辛く、悔しい思いもたくさんしたと思います。このような状況が続いていることから、慶早戦の開催も厳しいのではないだろうかと思っておりましたが、両校の皆様のご尽力により、現役のみではあるものの開催できるということで大変嬉しく思います。バドミントンを始めたのが大学からであった私は、バドミントンのことをよく分かっていない中で初めて慶早戦を見たとき、両校の先輩方の熱い試合、緊張感にただただ圧倒されていました。しかし、それと同時に自分もいつかあのコートに立ちたいという気持ちが生まれたのもこの時からでした。慶早戦への出場はかないませんでした。早稲田に勝ちたいという気持ちは皆一緒に出場選手も応援、サポートする側も一丸となって立ち向かっていきました。

1部校の選手を相手に戦っている選手を全力で応援、サポートをしていたことは今でも鮮明に覚えています。卒業してからも慶早戦には何度か足を運びましたが、熱い試合を見るたびに自分たちが現役だったころのことを思い出します。今年はコロナの影響により、応援に行けないのは残念ですが、遠く離れた岡山の地から応援しております。今までの練習で積み重ねてきたことを存分に発揮して、チーム一丸となって頑張ってください。

# WASEDA



**主将**  
小野寺雅之  
スポ科4  
埼玉栄 (埼玉)  
早稲田の誇るバードジャパン！  
早稲田の不死鳥であり、飲んでも飲んでも復活を繰り返す恐ろしい人である。大人な遊びもたくさん教えてくれる。最近が多忙なためなかなか部に顔を出してくれない(泣)。みんな会いたがってますよー！



**主務**  
川本寛樹  
文構4  
早大本庄 (埼玉)

後輩の面倒見もよく、器が広くて、顔の面積がとても広い頼もしい先輩である。顔面へのシャトル命中率は高く、当たってもびくともしない。なんてカッコいいんだ(棒)



**女子主将** 吾妻咲弥  
スポ科4  
富岡 (福島)  
女子力が高く、みんな頼りにしている女子主将。とにかく人、物何でもネーミングセンス抜群。最近btsにどハマりし、朝昼晩全てbtsに捧げてるらしい。インスタのおすすめ画面全てをbtsにしたという伝説も。。引退したらまずbtsのファンクラブに入ること間違いなし。



**大林拓真**  
スポ科3  
埼玉栄 (埼玉)

バードジャパン2人目。強靱な肉体から放たれるショットは体育館を破壊してしまうかもしれないくらい。早稲田にとって欠かせない存在だが最近では部員として幽霊化しているようだ...  
8



友金利玖斗  
スポ科3  
神戸村野工業（兵庫）

彼にとって体育館はカラオケである。毎日体育館で美声を響かせ、練習の指揮を上げてくれる。練習でも部員一人一人に合ったメニューを組んでくれる面倒見の良い先輩。趣味も多岐に渡り、プライベートもかなり充実しているようだ。



副務  
牧野倫太郎  
スポ科3  
豊橋東（愛知）

早稲田の裏ボスとは彼のことであり、裏で部を操っている。彼の口から出る言葉は恐ろしく、逆らうことはできない。最近では部内のポケモントレーナーの養成に励んでいる。



平野紗妃  
スポ科3  
九州国際大付属（福岡）

料理上手なみんなのママ的存在。次期女子主将。関東に来て3年目だが言は全く抜けていない。ずっと抜けていってほしい。最近はキンプリにハマっているらしく、部室でノリノリで歌を聴いていることもしばしば。言うまでもないが、同姓の平野紫耀押し。お酒に弱くすぐ真っ赤になることは部員は周知している。



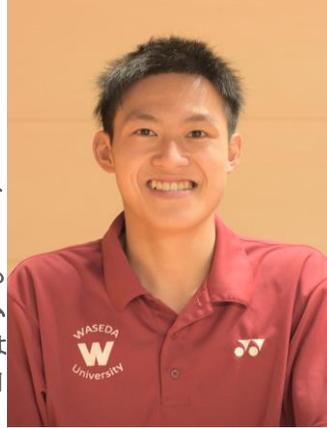
鈴木ゆうき  
社学3  
聖ウルスラ英智（宮城）

トリッキーなプレーで相手を寄せつけないバドミントンセンスと笑いのセンスの持ち主。常に笑顔を絶やさず明るいのが、本心はどう思っているのだろうか。。。誰もが二度見する独特の可愛らしくしゃみをするので、機会があればぜひ見てほしい。あと彼氏が常にいる秘訣を全力で知りたい。



緑川大輝  
スポ科2  
埼玉栄（埼玉）

こちらも早稲田の誇る3人目のバドミントン日本代表。インハイ3冠など数々の実績を誇る彼だが、ゲームの戦績も素晴らしい。数多くのゲームをこなし、中でも荒野行動は無敵である。ぜひ荒野行動日本代表も目指してほしい。



一宅翔太  
国教2  
早稲田佐賀（佐賀）

Theポジティブ、バドミントン大好き人間。誰よりも練習を愛し、気づけばよく羽置きしている。ちなみに英語と中国語もペラペラのトリリンガル。顎をよくいじられているが、本人はチャームポイントと認識しているので是非いじってあげよう。



吉田瑠実  
スポ科2  
埼玉栄（埼玉）

リーグでも多くの勝ち星を挙げた確かな実力者。試合ではクールだが、日常生活は陽気で、天然、あざとさも兼ね揃える。。。トリセツを一つ挙げるなら笑いのゾーンに入るともう誰も止められないので、その時は待ちましょう（笑）長い爆笑につられて笑っちゃったら負けです。



佐原穂香  
人科2  
近畿大学附属和歌山（和歌山）

大人しくて真面目に見えるが、それは演技である。本当は話し出すと止まらない。もしかしたらキャピキャピ系女子なのかもしれない。練習中は常に微笑している。この笑顔の裏側には何があるのだろうか..



池端元哉  
スポ科1  
熊本学園付属（熊本）

期待の新星、池端元哉。爽やかで笑顔が眩しい。インハイ3位の実力を持つ彼だが、普段はよく男の子を捕まえてはイチャついている。どうか温かい目で見守ってやってください...



清水皓基  
社学1  
比叡山（滋賀）

毛深くて、常時奇天烈な行動をとる。動物園で飼育されていても違和感はないだろう。ぜひ彼の多彩なプレーとユニークなすね毛に注目して欲しい。



荒島一太郎  
人科1  
豊橋東（愛知）

試合中は気弱だが、部活と学業もしっかりとこなしているデキる男！彼をなめてはいけない。よく池〇とくすぐり合いをしている。もしかしたらそうゆう関係なのかも？



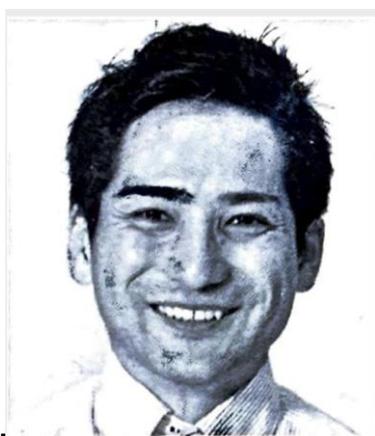
佐々木健人  
スポ科1  
海誠（東京）

初心者で入部した勇敢な少年。彼の上達スピードはバードジャパン級！これからの成長に期待！！稀に出る「アッ！」の声が可愛い。



宇都智香  
スポ科1  
聖ウルスラ学園英智（宮城）

声、雰囲気ふわふわでどこかに飛んでいきそうな期待の新一年生、宇都ちゃん。フワフワに油断していると、試合でボコられます。たまに天然ボケが入ります。ランニングもすごく速く、いつも他の女子部員を置いてけぼりに。フワフワとのギャップ、モエー。



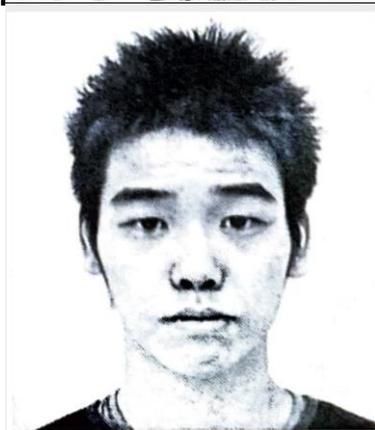
監督  
川合 光  
Hikaru Kawai  
平成17年教育学部卒  
國學院久我山（東京）  
勤務・早稲田大学職員

平成18年度から監督に就任。バドミントンだけでなく、部員の様々なめんまでサポート。一人一人と向き合っており、ご指導を頂いております。



コーチ  
岩崎 良彦  
Yoshihiko Iwasaki  
平成19年政治経済学部卒  
早大学院（東京）  
勤務・早稲田大学職員

バドミントンだけでなく、様々な面において部を支えて頂いております。また、技術面では部員一人一人に親身なご指導をして頂いております。



コーチ  
藤巻 光善  
Mithuyoshi Fujimaki  
平成17年社会学部卒  
星陵（静岡）  
勤務・ヨネックス

平成22年度からコーチに就任された、粘りのシングルスプレイヤー。自らコートに入っでは熱く指導して頂いております。



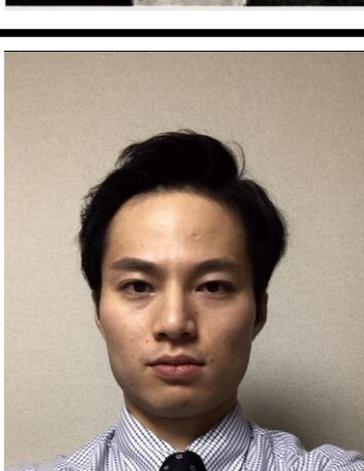
コーチ  
池亀 志帆  
Shiho Ikegame  
平成12年度人間科学部卒  
麻溝台（神奈川）

技術面のみならず、身体面や精神面においてもサポート、ご指導頂いております。



コーチ  
山田 雄一  
Yuichi Yamada  
平成23年度教育学部卒  
関東第一（東京）  
勤務・NTTコミュニケーションズ

昨年度よりコーチに就任。試合では的確なアドバイスをくださり、練習では熱い指導を頂いております。



コーチ  
丸尾 亮太郎  
Ryotaro Maruo  
平成26年度スポーツ科学部卒  
伊勢崎清明（群馬）  
勤務・日立情報通信エンジニアリング

今年度よりコーチに就任され、練習では自ら学生とともにコートに入って熱い指導をして頂いております。



コーチ  
我妻美沙紀  
Misaki Wagatsuma  
平成29年スポーツ科学部卒  
聖ウルスラ英智（宮城）

昨年度よりコーチに就任されたダブルス、シングルス両プレイヤー。熱心な指導をしていただいております。

# KEIO

## 早慶バドミントン定期戦



主将  
佃 啓介  
法法4  
広島なぎさ(広島)

我が誇れる主将は今日もバドミントンのことを思索する。その愛ゆえ、練習中は笑みがこぼれているくらいだ。どんなに辛い練習も全力でぶつかるその姿勢が部員全員をやる気にさせる。同じく中国地方出身のノブ寄りの口調を根強く続けているストイックさもすごいんじゃない！

主務  
渡辺 圭  
法法4  
慶應義塾志木(埼玉)

4年生で最も穏やかな男・圭さんは勉強にも熱心で留学にも行きその豊かな見聞を積み上げている。しかし、単純に「できる男」というわけでもなく数ヶ月に一度、ブラック圭さんが現れる。なぜか久しぶりにそんな姿が見たくなるのも魅力です。

三木 隆太  
商4  
慶應義塾湘南藤沢(神奈川)

ワンチャンブレイカーの三木さんは、のらりくらりと誘いを断る。部内切っけのムードメーカーで部にコンスタントに笑いを届ける。オンオフがしっかりしているのも後輩に慕われる由縁。「ワンチャン！」を必ずもぎ取るリバースカットは絶品。

引地 亮太  
理4  
川越(埼玉)

毎日の家路までが練習だと語る。常に課題に追われている彼のその強靭すぎる足腰は特急との連日のレースから生まれた賜物である。冷静沈着なブレインとアツアツのハートが彼の武器。 12



プラケ・ラファエル  
経済学研究科 (大学院)  
HECパリス(パリ)

かっこかわいい爽やかパリジャン。四カ国語を巧みに操るハイスペックさと裏腹に甘いマスクの両立がすごい。ハイバックとステキな女性が好きだそう。シルブプレ!!!  
トレビア〜ん!!!



主将  
和田 毬代  
総4  
聖ウルスラ学院英智(宮城)

名門校出身のエリートガールは、四年間で方言が標準語に侵食されることのない芯の強さを見せ付けた。愛嬌たっぷり立ち振る舞いと、コートでの粘り強い諦めない姿勢が皆の心を驚掴みにする。



主務  
中元 悠花子  
総4  
立命館慶祥(北海道)

恒温動物最弱の温度調節機能とも評される道産子ゆかさん。主務の仕事や、課外活動にも精力的に取り組む姿はとても逞しい。強烈なスマッシュもかっこいいが、時々言葉遣いが完全に武士のようでかっこいいで候。



白石 会美  
法政4  
湘南白百合(神奈川)

超真面目でストイックな彼女は3年の春の入部にも関わらず圧倒的な成長を遂げ、皆の開いた口を塞がせなかった。見かけによらず、なかなかテクトーなどところもあるのは勘弁。一説によるといつでも六法を持ち歩いているそうだが、バッグはそんなにかさばってはいない。



稲原 溪  
経3  
日比谷(東京)

名門校出身とは思えない雰囲気漂う(自称)パーフェクト男子。とはいえ、気前もよくストイックなところも含めパーフェクトなのかもしれない。得意なことは巧みに繰り出すスマッシュとドロップ。にがてなのはおやさいとにほんご。



副務  
結城 拓也  
商3  
県立浦和(埼玉)

みんな大好き聞き間違えボーイ。仕事もとにかく素早くこなし、周りへの気配りも怠らない。ただ時々えげつない。顔立ちも整っており、最近は香水の芳香までもがカッコいい。でもやっぱりえげつない。その香水のせいなのだろうか...



塩谷 拓人  
医3  
慶應義塾(神奈川)

多忙を極めるおしおさん。部活に実習、短いスパンでやってくるテスト。その疲れからか、早く帰宅しようとするあまり最近忘れ物がひどい。3年生内での揚げ足取りゲームの中心人物。この遊びいつまで続くんだろう.....



高科 幸平  
理3  
サレジオ学院(神奈川)

言わずと知れた慶應の絶対的エース。プレーの安定感とはたとえ自粛期間でも上がっていたとのこと。無口そうだが、結構おしゃべりである。なぜか彼の周りには部内の様々な噂が流れてくるらしい。もう色んな意味で逆えない.....



竹本 功貴  
理3  
高岡(富山)

長身ハイスペック理系男子のおたけさん。仲間思いで相手のレベル問わずアドバイスに勤む日々。ここまで聖人のようだが、某先輩からは1億円もらっても結婚したくないと宣告された。そんな発言に「はあ〜?キレそう.....」



田村 侑己  
環3  
八王子東(東京)

八王子の王子! 苦手なのは掃除! 服を愛する都会派ボーイ! 田舎者扱いには誰も同意! 盛り上げてくぜ基礎打ち! 鋭角スマッシュで今日も精進! そんなわけでラップが好きだそうです。



小沼 みなみ  
文3  
西武台千葉(千葉)

最強の女みなみさん。ハチマキはなくともリラックスさるえあればとにかく無双すこと。普段のフワフワ感とコートでの鋭い眼光のギャップは凄まじい。今年も暴れまくってくれること間違いなし。



福田 瑠奈  
文3  
大宮(埼玉)

副務として部のサポートに従事する福田さん。そのストレスをとにかく食にぶつけているように見える。東日本大会で某部員が食べきれなかったスープカレーを完食するために、宿から店に向いたという噂が笑しやかに広まっている。(多分事実。)粘り強いタフネス溢れるプレーに注目。



青木 空  
文2  
多摩科学技術(東京)

サカナクション山口一郎似(八木橋談)のイケメン。明らかに古参っぽいが入部して3ヶ月なんです。とにかく全体の前で話す時は円熟な雰囲気漂っている。川井は相棒、ついてゆきますどこまでも。



八木橋 優希  
法法2  
日比谷(東京)

情緒不安定な「イン」ドア男子は、笑いが取れるならどんな物も犠牲にする。基本口から弱音と皮肉がこぼれ出してしまうのが弱点。スマッシュと着替えのスピードのコントラストが鮮やか。線審では「イン」でも発声する。



迎 俊輔  
法政2  
本郷(東京)

見るからにいいヤツ。見るからに天然。見るからに体育会系。見るからにめちゃうちゃ運動神経がいい。見るからに江戸っ子。見るからに独り身。こんな紹介で「ああ〜、すいません!!」



川井 宏之  
商2  
慶應義塾志木(埼玉)

#小動物系男子  
#スロー系男子  
#プログラミング好き男子  
#チョコ好きさんとつながりたい  
#逆境好きさんとつながりたい  
#インスタ更新しない系男子  
#カワインスタグラム



田中 叡  
総2  
県立浦和(埼玉)

絵にかいたような好青年の田中氏。卓球部出身ということから飲み込みが早く、日に日に上達している。私生活も順風満帆で同期からの羨望の眼差しが痛いらしい。入ってみせます、エリートアカデミー。



三島 亜里紗  
商2  
熊本第一(熊本)

みんなの慌てん坊ガール代表取締役。主食はパン、好きなものは櫻井翔、バイトが嫌いな中学生。私服がどうやらおしゃれになつたらしい。どんな時も負けん気な性格でA・RA・SHIを巻き起こしている。



調子 達哉  
文1  
狛江(東京)

期待の新星調子くん。徹底した分析力と丁寧ときに大胆なプレーが持ち味である。武蔵家の匂いを嗅ぐとアドレナリンが出る特異体質。いつもイヤホンをしているのは、決して授業を溜めているからではない。



永見 優羽  
経1  
慶應義塾(神奈川)

バド部の騒音担当。先輩？後輩？そんなことはお構いなしに、自分のペースに引きずり込む。練習中はかなり真面目で、彼なりの確固たるバドミントン道があるコートの静寂さは私生活には持ち込めないそうです。残念無念。



松元 遼  
法法1  
慶應義塾(神奈川)

古タンメン本に足繁く通うぶっ壊れ味覚のルーキー。成績優秀、仕事も卒なくこなす完璧人間だが先輩への弄りが日に日に酷くなっている。プレー面にもそのドSっぷりが如実に表れており、向かうところ敵なしである。



高木 将臣  
商1  
須磨学園(兵庫)

「まさしん」の愛称で親しまれる関西人。普段はおっとり聞き上手な彼だが、足の速さはNHKもびっくりの韋駄天。部室の往復がめちゃくちゃ速い。もう少し先輩頼っていいんだよ！！



中村 優介  
理1  
岐阜(東京)

1年生随一のトラブルメーカー。常に誰かから弄られており、あだ名はもはや「岐阜」。誰よりも辛そうな顔で練習に臨むため、心配の声は絶えない。間違いなく弊部史上最も「集合です！」と叫んだ男になるだろう。



平林 航  
総1  
慶應義塾(神奈川)

塾高出身トリオの一面を担う天下の大將軍(?)平林君。爆弾発言を繰り返しているため、彼が口を開くと大体良くないことが起こるらしい。暴れ馬の二つ名の通り、バズーカスマッシュで相手のレシーブを粉碎していく。



橋本 柊吾  
薬1  
県立千葉(千葉)

バイトが大好きで命を毎日削っている。もはや彼の教室は電車らしい。家が遠すぎるといふ欠点を持ちながら、黙々と練習に励む彼は技術を磨き続けている。ちなみに、隠れオタクということが発覚した途端にクールガイの地位は失墜した...



牧野 桐子  
法政1  
岡崎城西(愛知)

見るからにお嬢様感漂うステキすぎる女子部員。跳梁跋扈する男子部員を冷やかな目で見つつ、今日も仕事を真面目にこなす。お嬢様すぎて「とうこちゃん」の「ちゃん」が外れる気がしない。プレーはエレガントでファビュラス。



**監督**  
岩田 好造  
Kozo Iwata

昭和63年経済学部卒  
長崎東（長崎）出身  
リクルート

現役部員を多方面から支えてく  
たさる教育者。対話をテーマに  
部員の成長を働きかけ、優しく  
見守ってくださる。時に交える  
ご自身の経験談は、社会の厳し  
さとそれに打ち勝つマインドネ  
スを教えてくれる。後、部員を  
いじるのが好き。



ヘッドコーチ  
竹鼻 拓也  
Takuya Takehana

法政大学卒  
金沢二水（石川）出身  
NTTドコモ

誰よりも現役部員のことを熱く思い、  
バドミントンの一を教えてください。  
現役を引退して10年以上経つが、今  
でも1時間以上のトレーニングを日課  
とし、自分にも部員にも厳しく接す  
る。バドミントンに対する姿勢、勝  
利への執着心は部員の手本である。



コーチ  
青木 孝徳  
Takanori Aoki

早稲田大学卒  
常総学院(茨城)出身  
NTT東日本

部員の固定観念を壊す新しい  
視点を提供して下さっている。  
また、メンタリティの面  
からのアプローチも怠ること  
はない。とても良いパパなの  
が傍目からでもわかる。



男子コーチ  
村山 卓  
Suguru Murayama

平成29年商学部卒  
東海高校（愛知）  
プロエージェント

怖い見た目とは裏腹に常に部員  
を気にかけてくれるとても優し  
い人。部員の様々な相談に乗っ  
てくださり、助けられた部員は  
数知れない。練習にもよく来て  
くださり、後輩の成長を温かく  
見守ってください。



男子コーチ  
上村 聡  
Satoshi Kamimura

平成30年文学部卒  
西武台千葉高校（千葉）  
キリン

卒業して4年が経とうとするが、今で  
も部員に多大な影響を与えてくれる  
存在。厳しい言葉を投げかけること  
もあれば、笑顔でトレーニング量を  
倍増させることもあるがそれらも全  
て部員の成長を願ってのこと。数々  
の伝説を持つ彼は部員の憧れである。



女子コーチ  
菅 優  
Yuu Suga

平成30年総合政策学部卒  
九州国際大学付属高校（福岡）  
出身  
リクルート

溢れんばかりの優しさで部員を  
暖かく見守って下さっている。  
技術に裏打ちされた的確なアド  
バイスで正しい方向へと導いて  
くれる。差入れいつもありがた  
うございます。

（\*）各コーチの紹介欄に掲載されたコメントは、各コー  
チの人柄や生き様に対して抱いている印象を基に佃主将が  
書き綴ったもので、コーチ本人の言葉ではないことをおこ  
とわりしておきます。

# 本年度試合結果

## 【大学男子戦】

- 義塾5-7早稲田大学
- 1D高科・松元1(21-18,16-21,14-21)2牧野・清水
- 2D塩谷・田村2(21-16,21-11)0川本・荒島
- 3D稲原・平林0(17-21,17-21)2緑川・一宅
- 4D結城・八木橋1(19-21,23-21,16-21)2池端・佐々木
- 1S結城0(5-21,8-21)2緑川
- 2S塩谷0(11-21,5-21)2池端
- 3S高科0(16-21,17-21)2清水
- 4S田村0(19-21,17-21)2川本
- 5S迎2(21-12,21-16)0荒島
- 6S松元2(21-4,21-12)0一宅
- 7S平林2(21-10,21-7)0佐々木
- 8S稲原2(21-19,21-14)0牧野

## 【4年生戦】

- 1D三木・ラファエル0(18-21,14-21)2川本・荒島
- 1S引地2(15-21,21-15,21-16)1牧野
- 2S佃0(13-21,9-21)2川本

## 【大学女子戦】

- 義塾0-5早稲田大学
- 1D小沼・福田0(5-21,7-21)2鈴木・吉田
- 2D和田・中元0(15-21,9-21)2平野・宇都
- 1S福田0(4-21,3-21)2吉田
- 2S小沼0(17-21,9-21)2宇都
- トリプルス和田・中元・白石0(10-21,11-21)2吾妻・鈴木・佐原

## <3賞受賞者>

- 最優秀選手賞(男子):緑川大輝(早2)
- 最優秀選手賞(女子):吾妻咲弥(早4)
- 敢闘賞(男子):引地亮太(慶4)
- 敢闘賞(女子):和田毬代(慶4)
- 最優秀新人賞(男子):清水皓基(早1)
- 最優秀新人賞(女子):宇都智加(早1)



(開会式時 円陣の様子)

# 慶早戦の様子



現役集合写真



試合をする塩谷(左・医3)、田村(右・総3)



試合をする八木橋(左・法2)、結城(右・商3)



主将戦に望む佃(法4)



試合をする福田(文3)

# 慶早戦の様子



試合をする小沼(文3)



試合をする白石(左・政4)、中元(中央・総4)、和田(右・総4)



試合をする平林(左・総1)、稲原(右・経3)



試合をする稲原(経3)



試合をする和田(左・総4)、中元(右・総4)



アップをする引地(理4)

# 慶早戦の様子



試合をする三木(左・商4)、ラファエル(右・院2)



塾歌を斉唱する現役部員



選手宣誓をする佃(法4)



司会進行をする八木橋(法2)



試合後における集合写真



慶早戦運営メンバー(左から八木橋、結城、田中、福田、川本(早<sup>20</sup>4)、渡辺、中元)

**NANOFLARE 800**

ショットスピードで攻める  
ナノフレア800 / ¥25,000 (+Tax) 日本製



far beyond ordinary

WHICH WILL  
YOUR CHOICE  
TO GET UP  
THE COURT?

www.yonex.co.jp

● yonex\_jp

@ yonex\_jp

● YONEXJPN

**NEW NANOFLARE 800LT**

スウィングスピードで攻める  
ナノフレア800LT / ¥25,000 (+Tax) 日本製